

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月4日

上場会社名 テレビ東京ブロードバンド株式会社
コード番号 3786 URL <http://www.txbb.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 雅夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理ユニット 広報・IR部長 (氏名) 渡辺 豪

TEL 03-5733-3888

四半期報告書提出予定日 平成22年2月9日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	1,803		159		155		128	
21年3月期第3四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	3,754.16	
21年3月期第3四半期		

(注) 当社は、21年3月期第3四半期は四半期財務諸表を作成していないため、21年3月期第3四半期の経営成績については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	1,338	1,009	75.4	29,609.41
21年3月期	1,376	881	64.1	25,855.25

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,009百万円 21年3月期 881百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		0.00		0.00	0.00
22年3月期		0.00			
22年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,400	3.2	130		125		110		3,225.80

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無
以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	34,100株	21年3月期	34,100株
期末自己株式数	22年3月期第3四半期	株	21年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	34,100株	21年3月期第3四半期	34,100株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成21年5月14日付公表の通期業績予想を修正しております。詳細は、平成22年2月4日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2.本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、前年からの急速な景気悪化には歯止めが掛かりつつあるものの、厳しい雇用・所得環境に加え、為替動向の不透明感、デフレの進行など、依然、景気の二番底への懸念が拭い去れず、不透明な状況にあります。

このような経済状況の下で当社は、テレビ東京グループのIT戦略企業として、株式会社テレビ東京（以下、テレビ東京）との業務提携を深め、モバイル&インターネット分野へ経営資源を投下してまいりました。「コンテンツ」「アニメ」「クロスメディア」の各事業ユニットにおいて、新たなモバイル向けコンテンツ配信サービスを開始する等、積極的に展開いたしました。また、既存事業のスクラップ&ビルドを引き続き推進し、事業の選択と集中を図るとともに、新規事業開発の準備も着実に進めました。特に利益面においては、前事業年度内に行った事業再編、組織再編の効果、及び、適切なコスト管理により、堅調に推移しました。

その結果、当第3四半期累計期間における経営成績は、売上高1,803,816千円、営業利益159,216千円、経常利益155,538千円、四半期純利益128,016千円となりました。

（注）当社は、前年同四半期は四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較については記載しておりません。

各事業区分における取り組みは以下の通りであります。

①コンテンツ事業

当事業におきましては、モバイル向けコンテンツ配信サービスのさらなる拡充に注力しました。

モバイル向けコンテンツ配信サービスでは、平成21年11月に「スヌービーメール」を3キャリア展開、12月に「HbGキャラメール」「フェアリーテイルモバイル」「テレビ東京 ムービー★うた」を新たに開始いたしました。また、番組連動施策を積極的に推進し、テレビ東京公式モバイルサイト「てれともばいる」では、若年層向け番組「ピラメキーン」の着うたコンテンツが累計40万ダウンロードに迫る等、従量課金型のコンテンツ配信が堅調でした。また、アニメ「家庭教師ヒットマンREBORN!」等でも番組連動施策を実施いたしました。一方、EC・物販事業は、平成21年4月に開始したECサイト「おかいものSNOOPY」が堅調に推移したものの、「Snoopy cafe」ブランドによるマーチャンダイジング・物販事業展開は苦戦し、EC・物販事業全体では伸び悩むこととなりました。

なお、EC・物販事業の再構築を図るべく、改めて当該事業の検討を行っております。その一環として、11月6日付で飲食店「Snoopy cafe」を営む株式会社パコマの株式譲渡を実施しております。

②メディア事業

当事業におきましては、テレビ東京公式ホームページ、「あにてれ」等の企画・開発・制作・運用受託、システムソリューションの受託を中心に取り組みました。

テレビ東京公式ホームページ受託事業においては、テレビ東京より、年末年始特番および1月編成の新番組にかかるホームページ制作等を中心に堅調に推移しました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

①資産

当第3四半期会計期間末の資産合計につきましては、前事業年度末に比べ25,450千円減少し、1,338,403千円となりました。流動資産は、預け金の増加等により1,174,308千円となりました。固定資産は、ソフトウェアの償却による減少、敷金の減少等により164,095千円となりました。

②負債

当第3四半期会計期間末の負債合計につきましては、前事業年度末に比べ102,566千円減少し、328,722千円となりました。流動負債は、短期借入金の減少、本社移転損失引当金の減少等により324,245千円となりました。固定負債は、4,477千円となりました。

③純資産

当第3四半期会計期間末の純資産合計につきましては、四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加等により、前事業年度末に比べ128,016千円増加し、1,009,681千円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、期首に比べ88,581千円増加し169,217千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、213,749千円の収入となりました。主な収入要因は、税引前四半期純利益129,737千円、未収入金の減少額52,658千円であり、主な支出要因は、本社移転損失引当金の減少額42,157千円、たな卸資産の増加額22,956千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、13,520千円の支出となりました。主な収入要因は、敷金の回収による収入106,633千円であり、主な支出要因は、敷金の差入による支出52,793千円、貸付けによる支出33,804千円、有形固定資産の取得による支出31,709千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、111,646千円の支出となりました。支出要因は、短期借入金の純減による支出91,646千円であります。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成21年5月14日に公表いたしました平成22年3月期通期業績予想を修正しております。詳細は、平成22年2月4日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期会計期間末
 (平成21年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	41,852
売掛金	514,218
商品	24,976
制作勘定	371,352
預け金	127,365
繰延税金資産	22,486
その他	107,816
貸倒引当金	△35,760
流動資産合計	1,174,308
固定資産	
有形固定資産	43,700
無形固定資産	64,601
投資その他の資産	
敷金	52,793
その他	38,022
貸倒引当金	△35,022
投資その他の資産合計	55,793
固定資産合計	164,095
資産合計	1,338,403
負債の部	
流動負債	
買掛金	268,201
その他	56,043
流動負債合計	324,245
固定負債	
長期未払金	4,477
固定負債合計	4,477
負債合計	328,722
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,483,500
利益剰余金	△473,818
株主資本合計	1,009,681
純資産合計	1,009,681
負債純資産合計	1,338,403

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,803,816
売上原価	1,139,504
売上総利益	664,311
販売費及び一般管理費	505,095
営業利益	159,216
営業外収益	
受取利息	2,571
業務受託手数料	1,111
雑収入	2,687
営業外収益合計	6,370
営業外費用	
支払利息	579
業務支援費用	238
事務所移転費用	9,229
営業外費用合計	10,047
経常利益	155,538
特別損失	
投資有価証券評価損	833
減損損失	603
貸倒引当金繰入額	16,325
債務保証損失引当金繰入額	7,095
和解金	943
特別損失合計	25,801
税引前四半期純利益	129,737
法人税等	1,720
四半期純利益	128,016

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	619,099
売上原価	414,021
売上総利益	205,077
販売費及び一般管理費	157,316
営業利益	47,761
営業外収益	
受取利息	634
雑収入	385
営業外収益合計	1,020
営業外費用	
支払利息	172
事務所移転費用	7,457
雑損失	28
営業外費用合計	7,657
経常利益	41,123
特別損失	
投資有価証券評価損	833
特別損失合計	833
税引前四半期純利益	40,289
法人税等	572
四半期純利益	39,717

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期累計期間
(自 平成21年4月1日
至 平成21年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	129,737
減価償却費	39,283
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15,073
本社移転損失引当金の増減額 (△は減少)	△42,157
受取利息及び受取配当金	△2,571
支払利息	579
減損損失	603
投資有価証券評価損益 (△は益)	833
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,839
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△22,956
未収入金の増減額 (△は増加)	52,658
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,230
その他	43,011
小計	207,485
利息及び配当金の受取額	2,421
利息の支払額	△59
法人税等の還付額	3,901
営業活動によるキャッシュ・フロー	213,749
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△31,709
無形固定資産の取得による支出	△13,712
貸付けによる支出	△33,804
貸付金の回収による収入	5,864
関係会社株式の売却による収入	6,000
敷金の差入による支出	△52,793
敷金の回収による収入	106,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△91,646
長期借入金の返済による支出	△20,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,646
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	88,581
現金及び現金同等物の期首残高	80,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	169,217

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」
前連結会計年度に係る連結財務諸表
(要約) 連結貸借対照表

(単位：千円)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	80,635
売掛金	504,693
商品	21,551
制作勘定	351,821
繰延税金資産	22,998
その他	147,540
貸倒引当金	△13,437
流動資産合計	1,115,803
固定資産	
有形固定資産	53,894
無形固定資産	76,668
投資その他の資産	
敷金	106,633
その他	32,977
貸倒引当金	△7,487
投資その他の資産合計	132,123
固定資産合計	262,686
資産合計	1,378,489
負債の部	
流動負債	
買掛金	264,013
短期借入金	111,646
債務保証損失引当金	28,804
本社移転損失引当金	42,157
その他	38,703
流動負債合計	485,325
固定負債	
長期未払金	4,477
固定負債合計	4,477
負債合計	489,802
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,483,500
利益剰余金	△594,812
株主資本合計	888,687
純資産合計	888,687
負債純資産合計	1,378,489

前年同四半期に係る連結財務諸表
 (1) 四半期連結損益計算書
 (前第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	2,542,505
売上原価	1,852,852
売上総利益	689,653
販売費及び一般管理費	834,621
営業損失(△)	△144,968
営業外収益	
受取利息	7,671
雑収入	472
営業外収益合計	8,144
営業外費用	
支払利息	2,606
持分法による投資損失	35,614
雑損失	574
営業外費用合計	38,796
経常損失(△)	△175,620
特別利益	
関係会社株式売却益	6,853
特別利益合計	6,853
特別損失	
固定資産除却損	11,045
減損損失	1,575
関係会社株式売却損	1,466
和解金	19,000
特別損失合計	33,087
税金等調整前四半期純損失(△)	△201,854
法人税等	△86,145
四半期純損失(△)	△115,709

(前第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	831,180
売上原価	596,877
売上総利益	234,302
販売費及び一般管理費	277,708
営業損失(△)	△43,405
営業外収益	
受取利息	2,624
雑収入	388
営業外収益合計	3,012
営業外費用	
支払利息	620
持分法による投資損失	21,217
雑損失	116
営業外費用合計	21,954
経常損失(△)	△62,347
特別利益	
関係会社株式売却益	40
特別利益合計	40
特別損失	
固定資産除却損	10,408
特別損失合計	10,408
税金等調整前四半期純損失(△)	△72,715
法人税等	△7,929
四半期純損失(△)	△64,786

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

前第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△201,854
減価償却費	59,211
のれん償却額	103,231
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,258
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△3,770
スタジオ移転損失引当金の増減額 (△は減少)	8,000
修繕引当金の増減額 (△は減少)	1,605
受取利息及び受取配当金	△7,671
支払利息	2,606
持分法による投資損益 (△は益)	35,614
関係会社株式売却損益 (△は益)	△5,386
固定資産除却損	11,045
減損損失	1,575
売上債権の増減額 (△は増加)	106,772
たな卸資産の増減額 (△は増加)	34,848
仕入債務の増減額 (△は減少)	△34,759
その他	33,623
小計	150,950
利息及び配当金の受取額	7,489
利息の支払額	△2,349
法人税等の支払額	△28,078
営業活動によるキャッシュ・フロー	128,012
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△748
無形固定資産の取得による支出	△25,477
投資有価証券の売却による収入	13,621
貸付けによる支出	△16,000
貸付金の回収による収入	3,495
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	33,887
その他	△313
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,464
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△87,498
長期借入金の返済による支出	△46,998
配当金の支払額	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134,532
現金及び現金同等物に係る換算差額	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,944
現金及び現金同等物の期首残高	716,625
現金及び現金同等物の四半期末残高	718,570